

地震の備え 大丈夫ですか？

愛知県は、南海トラフ巨大地震の被害想定エリアに含まれており、内閣府の想定では、大口町でも最大震度5強（一部6弱）といわれています。



地震への備え

家具の置き方、工夫していますか？

家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。



食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

飲料水…1人1日3リットルが目安
非常食…調理せずに食べられるもの、アルファ米、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災したときなど、非常時に持ち出すべきものをいつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。

避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、ハザードマップで避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう！

地域のつながり

日ごろからの「地域のつながり」が災害時に役立ちます。地域行事などとおして、地域のつながりをつくっておきましょう。

※総理官邸ホームページより抜粋

今年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生。同時に大津波警報が発令され、日本海側の広い範囲に津波が到達しました。
この地震で、家屋の倒壊や主要道路が寸断されるなど大きな被害が起き、電気やガス、水道が止まるなどライフラインへも大きな影響が出ました。
大口町でも、南海トラフを震源とした大地震の発生が危惧されています。大規模地震とその災害に備え、日頃から防災意識を高めておくことが重要です。



▲大口町防災ハザードマップ



地震が起きたら

地震はいつどこで発生するかわかりません。
屋内・屋外では注意すべきことが異なります。

自宅で地震が発生したら

揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難しましょう。
揺れがおさまったら、**火の確認をおこないましょう。(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)**
家を出る時にはガス・水道の元栓を閉め、電気のプレーカーはOFFにする。(二次災害防止)



外出先で地震が発生したら

路上 窓ガラス、看板などの落下物からカバンなどで頭を保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難しましょう。近くに空き地などが無いときは、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。ブロック塀や自動販売機などには近づかないようにしましょう。倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意しましょう。

車を運転中 ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集しましょう。避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難しましょう。

